



# SkyPanel S30, S60, S120, S360-C

ユーザー マニュアル

1月 2024 · Firmware 4.4 · Japanese

L5.0019846 · L04126





## インプリント

© 2023 Arnold & Richter Cine Technik GmbH & Co. Betriebs KG. 全著作権所有。

このシステムは Arnold & Richter Cine Technik GmbH & Co. Betriebs KGの専有情報が含まれています。これは使用と開示の制限を含むライセンス契約に基づいて提供されており、著作権法によって保護されている。ソフトウェアのリバースエンジニアリングは禁止されている。

Arnold & Richter Cine Technik GmbH & Co. Betriebs KG の事前の書面による許可がない限り、この出版物のいかなる部分も、配布、複製、送信、転写、データ検索システムへの保存に使用したり、いかなる形式のいかなる言語にも翻訳したりすることはできません。

個人使用のために当社の Web ページからファイルをダウンロードする場合は、必ず最新バージョンを確認してください。

技術データは予告なく変更される場合があるため、ARRI はダウンロードされたファイルに対して一切の責任を負いません。

製品の開発により、この書面の情報は予告なしに変更される場合があります。ここに含まれる情報および知的財産は、ARRIとクライアントの間での機密情報であり、ARRIの独占的財産である。書面に問題がある場合は、必ず書面にして報告して下さい。この文章が完璧であることを保証しません。

Art-Net™ デザインおよび著作権はArtistic License Holdings Ltd.

オリジナルバージョン

### 文章の改訂履歴

文書 ID: L5.0019846

バージョン	作成	日付	注
L03423		2019年6月	ライトエンジン補償モードを追加 改訂履歴を追加しました
L04006		2023年12月	FW4.4について説明します いくつかの変更と追加
L04126		2023年12月	新しいレイアウトに転送

ARRI, ARRI ロゴ, ARRIMAX, ARRISUN, EB, **LOS**, L-Series, MAX Technology, M-Series, Orbiter, POCKETPAR, Quick Lighting Mount, QLM, True Blue, SkyPanel, SKYPANEL, Stellar, T12 青と銀の色の組み合わせは、Arnold & Richter Cine Technik GmbH & Co. Betriebs KG の登録商標である。.

# 内容

1 はじめに.....	6
1.1 特徴 .....	6
1.2 フームウェアバージョン情報 .....	6
1.3 特性 .....	7
2 デバイスマニュー.....	8
2.1 デバイスマニューの概要 .....	8
2.2 フィクスチャーメニューの特徴 .....	8
2.3 オペレーションモードの設定 .....	10
2.4 SkyPanel リモートコントロール .....	11
3 コントロールモード.....	12
4 クリエイティブ機能.....	14
4.1 CCTモードで色温度とグリーン／マゼンタ彩度の設定 .....	14
4.2 HSIモードで色の設定 .....	14
4.3 GELモードで色温度と色の設定 .....	14
4.4 Sourceモードでライトソースを設定する .....	14
4.5 RGBWモードでカラー設定をする .....	14
4.6 XYモードでカラー設定をする .....	14
4.7 拡大されたカラーコントロール .....	15
4.8 すべてのモードで明るさの設定 .....	16
4.9 調光カーブの設定 .....	16
4.10 スペシャルコントロールモードの設定 .....	16
4.11 Host / Client モード .....	17
4.12 校正されたRGBWカラースペース .....	18
4.13 周波数の選択 .....	18
4.14 ファンモードの設定 .....	19
4.15 照明効果を設定する .....	20
4.16 メニューから照明効果を扱う .....	22
5 その他の機能.....	25
5.1 表示動作の設定 .....	25
5.2 USB機能 .....	25
5.3 ライトプリセットリスト .....	26
5.4 フィクスチャーセットの保存と起動 .....	26
5.5 エラーとサービスログの保存 .....	27
5.6 情報の読み出しと設定の変更 .....	27
5.7 ファクトリーリセット .....	27
5.8 ライトエンジン作用が有効 .....	27
6 DMX.....	29
6.1 DMX の優先順位 .....	29
6.2 DMXアドレス .....	29
6.3 DMXモード .....	29
6.4 DMX シグナルロス状態 .....	29
6.5 DMXプロトコルのバージョン .....	30
6.6 拡張カラーコントロールを設定する .....	30
6.7 DMXフレームフィルター .....	30
6.8 ワイアレスDMX .....	30
6.9 DMX プリセット .....	31
6.10 DMX 設定の保存とロード .....	32

---

6.11 DMXモニター .....	32
<b>7 ネットワーク機能.....</b>	<b>34</b>
7.1 Art-Net とsACN .....	34
7.2 ネットワーク設定 .....	34
7.3 ARRI Lighting Service Manager .....	35
7.4 Web Portal .....	35
<b>8 メニュー構成.....</b>	<b>37</b>
<b>9 RDMコマンド.....</b>	<b>42</b>
<b>10 エラーコード.....</b>	<b>43</b>

# 1 はじめに

## 1.1 特徴

### ライトフィールド

SkyPanel は通常のソフトライトと同じ機能を持つ。

### 均一なライトフィールド

SkyPanel Softlight は同種の、シングルシャドーライトフィールドを生成し、自然な光を届ける。

### 鮮やかな色、フルスペクトル光線

リアルな色演出は SkyPanel の優れた特徴。SkyPanel バージョンのホワイトライトは様々な肌色、カメラセンサーや変化する光環境の中でも調整出来る。全色域の色混合により、すべての色合いの表現が可能になります。広範なゲルライブラリーは微々たる色の調整も簡単に出来る。

### クールライトビーム

SkyPanel は赤外線やUV光線を放たないため、光を当てられている人は不快に感じない。

## 1.2 ファームウェアバージョン情報

このユーザー マニュアルは、SkyPanel のファームウェア v. 4.4 について説明しています。

変更	説明
エラー ログをダウンロードし、sACN 経由でフィックスチャを制御しているときに、DMX が失われたというメッセージが表示されます。	SkyPanel が発光しなくなります。ショーの間は、光出力が中断される可能性があるため、メンテナンス機能を実行したり、USB メモリを接続したりしないでください。
Art-Net / sACN ゲートウェイの設定（オン/（オフ））は、DMX プリセット データに保存されます。	データラインの複数のフィックスチャに同じ DMX プリセットが使用されている場合、競合が発生する可能性があります。
S360-C のみ： ファームウェア v. 4.4 にアップグレードすると、CRMX モジュールの設定がリセットされます。	S360-C は CRMX トランスマッターに再リンクする必要があります。
RGBW COLOR SPACE のデフォルト値が変更されました。	デフォルト値は CALIBRATED COLOR になりました。予期しない結果を避けるために、フィックスチャを使用する前にこの設定を確認してください。
MASTER/SLAVE の名前が HOST/CLIENT に変更されました。	
WDMX は CRMX に名前が変更されました。	

## 1.3 特性

### 付属品ホルダー

SkyPanel の前面に拡散板または増圧器が配置されます。これらはロックガイド レールによって固定されるか、4 本のロックピンによって保持されます。ディフューザーとインテンシファイアーはどちらとも S360-C の標準装備として付いている。正面のガイドレールには他の付属品も保管できる。

### ヨーク

カーボンファイバー、あるいはアルミニウムで作られているヨークは軽く、最大の強度を提供。ショートメタルヨーク (S360-Cのみ) はを下向きに使用する際に役に立つ。

### ティルトロック

強度の強いティルトロックがアームの両サイドに装備されている。SkyPanel の滑りや動きを軽減している。

### コントロール

SkyPanel の全てのファンクションは、DMX, Art-Net, あるいはsACNから操作できる。このデバイスは完全な RDM 互換性もあります (適切なコントローラーを備えた DMX および Art-Net 経由)。システム状況とパラメーターの設定をレポートできるRDMフィードバックチャンネルも備えている。

SkyPanel はワイヤレスコントールとRDMコミュニケーションに使用するCRMXトランシーバーが一体化されている。SkyPanel シリーズの他のすべてのモデルは、サードパーティの CRMX システムを使用してワイヤレスで制御できます。

### デバイスマニュー

デバイスのフィクスチャ メニューには、色相、彩度、色温度、グリーン/マゼンタ ポイント、色の強度などのパラメータを手動で調整できるアプリケーションがあります。

### コントロールオプション

以下の表に記載されてあるオプションを SkyPanel で設定・調整が可能:

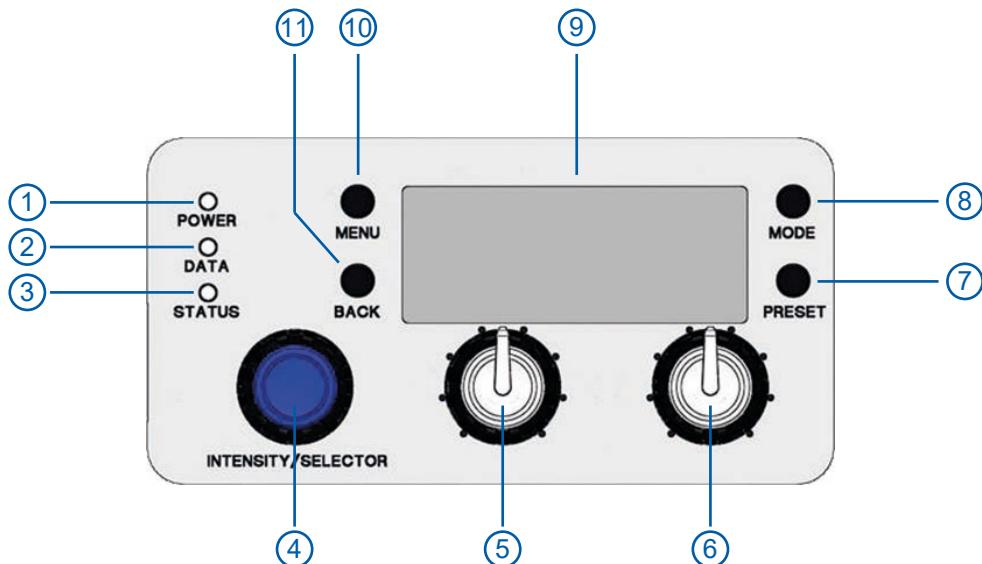
オプション	コントロール	形状	詳細
デバイスマニュー	はい	はい	セクションを参照 フィクスチャーメニューの特徴
DMX	はい	はい	DMXプロトコルを参照 (www.arri.comで無料ダウンロード)
CRMX (wireless DMX)*	はい	いいえ	セクションを参照 ワイヤレス DMX
RDM	いいえ	はい	セクションを参照 RDM
Art-Net とsACN	はい	いいえ	セクションを参照 Art-Net と sACN
ALSM	いいえ	はい	ARRI Lighting Service Manager
Web Portal	いいえ	はい	セクションを参照 Web Portal
Stellar App	はい	いいえ	製品ページを見る www.arri.com/stellar/

S360-CモデルはCRMXトランシーバーを装備している。その他のモデルをワイヤレスで使用する際にはCRMX/CRMX2システム（付属品）と繋げる必要がある。

## 2 デバイスマニュアル

このセクションは SkyPanel のフィックスチャーメニューと SkyPanel のリモート操作を説明している。データの保存と起動のオプションなどは、フィックスチャーメニューリモート操作では使用できない。

### 2.1 デバイスマニュアルの概要



### 2.2 フィックスチャーメニューの特徴

#### POWER LED (1)

カラー	指示
グリーン	デバイスの電源がオンになりました。エラーなし。
無色	デバイスの電源がオフになりました。

#### DATA LED (2)

カラー	指示
ブルー	フィックスチャーは有効なDMXシグナルを受信。
ブルー・グリーン	フィックスチャーは有効なCRMX (wireless DMX) シグナルを受信 (S360-C モデルのみ)。
パープル	マスター モード活動中
ホワイト	ゲートウェイ起動中。有効なArt-Netシグナル、RDMを受信中。
グリーン	有効なArt-Netシグナル受信中、ゲートウェイ活動停止中
オレンジ	有効なsACNシグナル受信中、ゲートウェイ活動中
シアン	有効なsACNシグナル受信中、ゲートウェイ活動停止中
レッド	フィックスチャーメニューとメインプロセサーの間にコミュニケーションなし。
なし	フィックスチャーに有効なコントロールシグナルなし。

### STATUS LED (3)

カラー	指示
グリーン	エラーなし。通常温度。
赤点滅 (0.5リズム)	フィクスチャー温度上昇警告 (ファンモード QUIET および HIGH の場合のみ)。
レッド	オーバーヒートディスプレイにエラーメッセージが表示されます。 校正データーなし。

### ディスプレイバックライト (9)

カラー	指示
ブルーまたはオフ	エラーはなく、正常な状態。
レッド	STATUS-LEDが赤いと、ディスプレイも赤く光る
オレンジ	POWER-LEDが赤いと、ディスプレイも赤く光る

### エンコーダ (4)

エンコーダー(4)は二つの機能がある：

- デバイスマニュアルが閉じられました：強度を調整。
- デバイスマニュアルを開く：エンコーダを使用してメニューをスクロールし、サブメニューを開いてパラメータを設定する。ノブを押すとサブメニューが出てくる。

### セントラルロータリーノブ (5)

ロータリーノブを使って色温度(CCT)と色調(HUE)を設定。ロータリーノブの現在のファンクションはディスプレイ(9)に表示されている。

### 右ロータリーノブ(6)

ロータリーノブを使い、グリーン・マゼンタポイントあるいは色彩度(SAT)を設定する。ロータリーノブの現在のファンクションはディスプレイ(9)に表示されている。

### プリセット (7)

PRESETボタンを押し、使用可能なプリセットを全て表示する。

- エンコーダ (4)を回して、10個あるファクトリープリセットの中から一つ選択する。
- エンコーダ (4)を押し、プリセットを起動する。

#### プリセットの保存

フィクスチャーメニューユーを使い設定する。

- Preset Saveと表示されるまでPRESETボタンを長押しする。
- エンコーダ (4)を回してプリセットメモリースロットを選択。
- エンコーダ (4)を押し、プリセットを保存。
- BACK (11)を押して閉じる。

#### DMX プリセットを呼び出すには

MENU ボタンと PRESET ボタンを同時に短く押すと、使用可能なすべての DMX プリセットのリストが表示される。

- エンコーダー (4) を回して、10 個の DMX プリセットから 1 つを選択する。
- エンコーダー (4) を 2 回押して、プリセットを有効にする。

#### DMX プリセットを保存

MENU ボタンと PRESET ボタンを同時に長押し (3 秒以上) すると、DMX プリセット リストが開く。

- エンコーダー (4) を回して、10 個の DMX プリセットから 1 つを選択する。
- スロットを選択し、エンコーダー (4) を押して DMX プリセットを保存します。BACK (11)を押して閉じる。

### モード (8)

SkyPanel のMODEボタンを押してCCT, HSI, GEL, ソースマッチング、RGBWモード、そしてXYモードから行き来が可能になる。

1) MODEボタンを3秒間長押しして、カラーコントロールを開く。  
この操作はRGBWモードでは使用できない場合がある。

#### DISPLAY (9)

ディスプレイは現在の設定や他の情報を起動中に表示している。MENUボタン(4)を押してフィックスチャーメニューを開いたり閉じたりする。エンコーダ(4)とBACKボタン(11)を使ってフィックスチャーメニューを操作する。

#### MENU (10)

メニュー ボタンでフィックスチャーメニューを開く。MENUを押してフィックスチャーメニューを開いて、(Escape)を押してアクションを取り消す。エンコーダ(4)を使ってメニューをスクロールし、サブメニュー や パラメーターを開く。

MENUを押して最も多く使用されているメニューを表示。

#### BACK (11)

BACKボタンはサブメニューを開いたり、アクションを取り消す(Escape)。MENUボタン(10)との違いは、BACKボタンはサブメニューしか閉じれない。

BACKを押して最後に使用したメニューを表示

#### フィックスチャーメニューをロックするためには

この機能を使用して、誤って設定が変更されるのを防ぎます。

- 1) 謝って設定が変わらないために、ホームスクリーンにあるエンコーダ(4)を5秒間押し続けて全てのボタンとノブをロックする。
- 2) ロックが完了するとスクリーンに”LOCKED”と表示される。
- 3) ホームスクリーンにあるエンコーダ(4)を5秒間押し続けて全てのボタンとノブを解除出来る。

### 2.3 オペレーションモードの設定

MODEボタン(8)を押して、CCT, HSI, GEL, Source, RGBW, XYモードを行き来できる。

SkyPanel のCCTモードでは、色再現が最適化されたホワイトライトを生成できる。SkyPanel HSIモードではカラーライトを生成する。色彩度の数値が低い場合、SkyPanel は自動的にホワイトライトを生成するが、色再現は最適化されていない。GELモードは、種類豊富なカラーゲルライブラリーを使用できる。ISOースモードでは、SkyPanel は従来の光源の光を生成します。RGBWモードを使い、コントロールパネルでRGBWカラーを使用する。XYモードはXY数値を設定し、色を再現できる。

MODEボタンを3秒間長押しし、異なるカラーコントロールを開く。拡張カラー制御機能は、RGBW キャリブレーション色空間が開始されていない限り、RGBW モードでは使用できません。

## 2.4 SkyPanel リモートコントロール

SkyPanel Remote は USB ケーブルでデバイスに接続されています。SkyPanel が電源を送っていって、バッテリーを使用しない。SkyPanel Remote は、SkyPanel デバイス メニューをエミュレートします。各 SkyPanel リモコンは 1 つのSkyPanelを制御します。

Host/Client 構成で複数のソフト ライトを使用して、1 つのリモコンで制御します。

SkyPanel は、リモート コントロールが接続されるたびに、リモート コントロールのファームウェアをチェックします。ファームウェアが、リモコンと SkyPanel本体と異なっていると、自動的にアップグレードもしくはダウングレードされる。

### 3 コントロールモード

モデルにより、SkyPanelは多くて23個のコントロールモードを備えている。8bitモードで調光などの標準なコントロールを使用。

16bit画素数に合わせて、16bitモードを使用することをARRIは推奨している。高い画素数により、調光や色調整がより正確にスムーズに出来る。

Coarse/fineモードはほとんどのパラメーターで二つのチャンネルを使い、8bitモードや16bitモードと比べて更に高い画素数を実現可能。一つのチャンネルは0から255の間でファンクションの粗さを設定している。Fineチャンネルで各ステップが256に分けられている。これによって、16bit画素数を使用しなくともライトをとても細かく、正確にコントロール出来る。

それぞれのコントロールモードの概要が説明されている。全てのDMXモードの詳細はARRIのウェブサイト[www.arri.com](http://www.arri.com)で無料ダウンロードできる“*SkyPanel DMXプロトコル詳細*”を参照。

色の強度、色温度とグリーンマゼンタポイントが調整出来る。

Additionally the *Extended Color Control* is available to fine tune the beam parameters.

#### CCT と RGBW

色の強度、色温度とグリーンマゼンタポイントが調整出来る。

赤、緑、青、白の色を制御するチャンネル (SkyPanel-Cのみ)。

#### CCT と HSI

色強度、色温度、グリーンマゼンタポイント、彩度とトーンをコントロール出来る。HSIモード (SkyPanel-Cのみ) では色と強度はフィックスチャー上で均等にコントロールでき、色は特殊なアルゴリズムを使いライトエンジンに対応出来るようになっている。

#### RGBW

チャンネル数が限られている時に全体の強度、そしてレッド、グリーン、ブルーと白の強度をコントロール出来るシンプルなモード。

#### HSI

DMXチャンネルの数が限られている時にトーン、彩度と強度をコントロール出来るシンプルなモード。

#### GEL

豊富なカラーフィルターリストが備えられている。3200Kと5600Kと、二つの色温度の設定がある。強度もコントロール可能。

#### X, y座標

CIE 1931に表示されているxy座標はxyモードでカラーを決定している。XとY座標は8bitあるいは16bit解像度で設定。色から色へとフェードする時のトランジションの種類を設定できる。

#### Source Matching

カラーとスペクトルにあっているライトソースをリストから選択。ソースマッチングする事で、必要なライトを選ぶ時に時間が短縮出来る。50個のライトソースの中から、一番適切なものを選ぶ。

#### ライトエフェクト

SkyPanelは13個の異なるライトエフェクトのあるライトエンジンを備えている。ライトエフェクトを起動するのはとても簡単である。フィックスチャーメニュー、DMX、Art-Net、あるいはsACNでライトエフェクトを起動し、パラメーターを必要に応じて設定する。

#### DMXを使ったライトエンジンコントロール

SkyPanelのライトエンジンは個々に調整ができる。CCT&RGBW、HSI、そしてXY座標のコントロールモードは全てのライトエンジンに適用されるが、個々のライトエンジンのパラメーターは別に設定できる。S30は一つのライトエンジン、S60は二つのライトエンジン、S120は4つのライトエンジン、そしてS360は12個のライトエンジンを備えている。

全てのDMXモードの詳細はARRIのウェブサイト[www.arri.com](http://www.arri.com)で無料ダウンロードできる“*SkyPanel DMXプロトコル詳細*”を参照。

### Ultimate DMXモード

このモードは、異なるコントロールモードを組み合わせて使用できる。二つのモードを選択して、フェードできる。これにより、アプリケーションに最適な制御モードを素早く設定、準備、そしてクロスフェードすることができる。

全てのDMXモードの詳細はARRIのウェブサイト [www.arri.com](http://www.arri.com) で無料ダウンロードできる *SkyPanel DMXプロトコル詳細* を参照。

### 拡大されたカラーコントロール

拡大されたカラーコントロールは現在の色を直観で変えていくことができる。カラーコントロールが起動されていると、8つのパラメーターが各コントロールモードに足される（セクションを参照 *拡張カラーコントロール*）。

### SkyPanel を装飾に使うにあたってのユーザーガイド

ARRI ライティング製品は、色々なシーンで使用される事が多い。

ライブショーや展覧会などの装飾のライティングとして使用する際、 SkyPanel は撮影クルーやご来場の皆様が快適に過ごせるように以下の設定をおすすめしている：

- ・ HSI、あるいはCCTモードなどの校正されたカラー モードを使用する。RGBWモードを使用するときは、“RGBW Calibrated Color” が作動されている事を確認する。
- ・ 強度の低いアウトプットが必要なときは、Low Endモードの設定をお勧めしている。
- ・ 1%以上の強度レベルがある方が、より綺麗にライティングが使用できる。全てのモードに共通している推奨レベルである。

## 4 クリエイティブ機能

### 4.1 CCTモードで色温度とグリーン／マゼンタ彩度の設定

ロータリーノブ（5）でつねに色温度を設定出来る。ロータリーノブ（6）でつねにグリーン／マゼンタ彩度を設定出来る。それぞれのロータリーノブの上に現在の設定が表示されている。

### 4.2 HSIモードで色の設定

ロータリーノブ（5）でつねに色調を設定出来る。彩度はロータリーノブ（6）で設定。それぞれのロータリーノブの上に現在の設定が表示されている。

### 4.3 GELモードで色温度と色の設定

ロータリーノブ（5）で色温度を 3.200 K もしくは 5.600 K. に設定。右のロータリーノブ（6）には二つのオプションがある：*Best color* は最適化された色のゲルを表示。*Brightest* は最適化された明るさのゲルを表示。

- 1) エンコーダ(4)を押してゲルライブラリーを開く。
- 2) ゲルマニュファクチャー (RoscoまたはLEE)をロータリーノブ（5）で選択する。
- 3) 右のロータリーノブ（6）でゲルカテゴリーを起動。
- 4) エンコーダ(4)を回してゲルセットを呼び出す。
- 5) エンコーダ(4)を押してゲルを選択、あるいはBACK(11)を押してゲルを閉じて、強度をエンコーダ(4)で調整する。
- 6) エンコーダ(4)を押して、ゲルセットをもう一度開く。

Rosco	LEE
色補正	色補正
Calカラー	カラーフィルター
Storaro セレクション	600シリーズ
Cinelux (シネラックス)	Cosmetic コスメティック)
	700 シリーズ

### 4.4 Sourceモードでライトソースを設定する

Sourceモードを起動させ、エンコーダ(4)を押して使用可能なライトソースを表示する。右ロータリーノブ（6）を使いカテゴリーを選択 DMXプロトコルの詳細を参照する、arriホームページからダウンロード可能）。エンコーダ(4)を押して、ライトソースを選択する。SkyPanel は、リアルタイムに設定された光源を呼び出す。エンコーダー(4)を押して光源を使用。

### 4.5 RGBWモードでカラー設定をする

中央ロータリーノブ（5）はRGBWモードでは機能しない。右ロータリーノブ（6）を使いエンコーダーエ(4)の機能を選択する。右ロータリーノブで機能を選択する事によって、エンコーダ(4)全体のレッド、グリーン、ブルー、そしてホワイトカラー強度を設定できる。Direct Control またはRGBW Color Spaceの設定に注意。RGBWカラーはプリセットとして保存できる。

### 4.6 XYモードでカラー設定をする

XYモードでは、XY座標を設定する事でカラーを変える事ができる。右ロータリノブ（6）を使いエンコーダーエ(4)の機能を選択する。右ロータリーノブで機能を選択する事によって、エンコーダ(4)全体のレッド、グリーン、ブルー、そしてホワイトカラー強度を設定できる。XとY座標のレンジは0.00000から0.8000である。

## 4.7 拡大されたカラーコントロール

カラーコントロールは選択されてあるカラーの補正をしてくれる。コントロール パネルまたは DMX の両方から使用できます（「DMX 経由で拡張カラー コントロールを使用するには」セクションを参照）。

コントロールパネルを通してカラーコントロールを使用する

MODE (8) ボタンを 3 秒間押し続けて、カラーコントロールをホームスクリーンで起動する。RGBW ダイレクトモードが開いているとカラーコントロールは起動されないので注意。校正されたRGBW カラー モードを起動する（構成されたRGBW カラースペースを参照）。カラーコントロールを起動してから MODE (8) ボタンを押すと、オペレーションモードから行き来できる（オペレーションモードの設定を参照）。

効果が有効な場合、MODE (8) ボタンを 3 秒間押し続けるとカラー モードとカラーコントロールを行き来できる。

下記の図がカラーコントロールのスクリーンである。



右上と左上に表示されているオペレーションモードはホームスクリーンと似ている（上記の図では HSI オペレーションモード）。

- 各パラメーターはスライダーとして表示されている。
- バーの中心に横線が引いてあるものはニュートラルなパラメーターである。
- 横線は各スライダーの数値を示している。
- 選択されてあるパラメーターはスライダーの下にある小さいバーに表示されている。
- パラメーターの名前と数値は、ディスプレイのスライダーの下に表示されている。

左から右に、カラーコントロールスクリーンのバーは以下のパラメーターを示している：

説明	パラメーター	レンジ
色温度	暖かいー冷たい	-1.000 0.000 +1.000
彩度	濃いー薄い	
現在の色のレッド割合	+ Red / - Red	
現在の色のグリーン割合	+ Green / - Green	
現在の色のブルー割合	+ Blue / - Blue	
現在の色のシアン割合	+ Cyan / - Cyan	
現在の色のマゼンタ割合	+ Magenta / - Magenta	
現在の色のイエロー割合	+ Yellow / - Yellow	

右ロータリーノブ(6)を使いパラメーターを選択する。パラメータの数値を I/S エンコーダー (4) で設定。注意する点：

- エンコーダー (4) の解像度は動いているスピードによって変化する
- 時計回りに回すことでパラメーターの数値が増える
- 反時計回りに回すことでパラメーターの数値が減る
- 2 度押すことで、選択しているパラメーターの数値をニュートラル (0) に戻す
- 3 度押すことで、全手のパラメーターの数値をニュートラル (0) に戻す

オペレーションモードを変更すると、現在使用しているパラメーターの数値が自動的に保存される。電源を入れ直すと、SkyPanel 拡張カラー制御パラメータが各動作モードに復元される。

拡大されたカラーコントロールが起動されている場合：

- ・星印が付いている場合、カラーコントロールが起動されている
- ・パラメーターは各プリセットに保存されている。拡張カラー コントロールのパラメータを含むプリセットには星印が付いている。
- ・拡張カラー コントロール パラメータを変更すると、アクティブなプリセットが残る。
- ・校正されたRGBWカラースペースはSkyPanelのカラーコントロールがDMXを通して起動された時に有効になる
- ・ダイレクトRGBWカラースペースは使用できない
- ・パラメーターはクロスフェードのスタートと終わりで有効
- ・パラメーターはライティング効果には使用できない

## 注記

ファームウェア4.0より新しいバージョンで作ったプリセットは、それ以下のものでは使用できない。

### 4.8 すべてのモードで明るさの設定

エンコーダー(4) ですべてのモードで明るさをつねに設定出来る。設定はダイナミックである：エンコーダー(4) 一を早く回すと強度が急激に変化し、遅く回すと細かく強度の設定が変化する。

### 4.9 調光カーブの設定

SkyPanel は 4 つの調光カーブを提供します。調光曲線はグローバルです。DMX, WDMX, Art-Net と sACN そしてフィクスチャーメニューの強度を調整している。

- ・**直線**: 強度はエンコーダー(4) あるいはチャンネルの値と比例して変化する。
- ・**急激**: 低い強度レベルではレゾルーションが高く、高い強度レベルではレゾルーションが低い。低い強度レベルでハイレゾルーションが必要な時に調光カーブを使用する。これがデフォルトの設定です。
- ・**対数**: 低い強度レベルではレゾルーションが低く、高い強度レベルではレゾルーションが高い。高い強度でハイレゾルーションが必要な時に調光カーブを使用する。
- ・**“S”カーブ**: 解像度は、より低い強度レベルとより高い強度レベルの両方で高くなりますが、その中間の強度レベルでは低くなります。低い、もしくは高い強度レベルでハイレゾルーションが必要な時に調光カーブを使用する。

調光カーブの設定

- 1) MENUボタン (10) を押し続けてフィクスチャーメニューを開く。
- 2) エンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *Light Control > Dimming Curve.*
- 3) エンコーダー (4) を回して押して、調光カーブを設定し、開始します。

## 注記

調光カーブのフラット部分の強度数値を標準に設定してある場合、強度の影響はとても低い。更にダイナミックは効果を生み出すためには、別の調光カーブや別のエフェクトを選択する。

### 4.10 スペシャルコントロールモードの設定

SkyPanel 4 つのスペシャルコントロールモードに対応している。特別な制御モードはグローバルです。これらは、フィクスチャ メニューまたは DMX、ワイヤレス DMX、および Art-Net または sACN を介した強度コントロールの両方に影響します。

#### Stage Mode

ステージモードは、強度を落とさずにゼロまで完全にスムーズに調光する必要があるライブエンターテイメントや演劇パフォーマンス用に設計されている。非常に低い調光レベルでは、色の変化が発生する場合がある。

ステージモードは映像の撮影には向いていない。

### Low End Mode

ローエンドモードは調光クオリティーを低い強度レベルで最適化でき、高い色演出、そして低い光レベルでもスムーズな調光を含んだ正確なCCTを SkyPanelに与える。ローエンドモードはハイフレームレートのカメラを向けるとちらちらする事がある。

### 注記

ステージモードはローエンドモードが有効な場合使用できない。どちらかのモードが有効な場合、*Not Available: Low End Mode*あるいは*Not Available: Stage Mode*という警告が表示される。前に他のモードを無効にする必要があります。

### Tungsten Mode

Tungsten モードは 従来のTungstenランプの調光カーブとオンオフ効果を真似出来る。ライトを暗くするとCCTが暖かくなり、強度がゼロに落ちると短く暖かい光が残る。SkyPanel をTungsten光源と混ぜる時に最適なモード。

### High Speed Mode

高速モードは、高速撮影用にちらつきのない光を生成します。フリッカーやロールバーなしで、最大 25,000 fps、シャッター角度 2° までテスト済みです。高速モードでは、CCT, HSI, Gel, Source Matching, xy, RGBW の制御モードが利用可能です。PWM 操作に依存しているため、照明効果モードは高速モードでは利用できません。ARRI の調整されたカラー アルゴリズムの技術要件により、個別のライト エンジン制御を利用する DMX モードは高速モードでは利用できません。ハイスピードモードでは強度は固定されている。設定は0%(ブラックアウト)もしくは100% (フル強度) のいずれかである。RGBW 色空間が直接制御に設定されている場合、赤、緑、青、白の各カラー チャネルの強度を調整できます。SkyPanel は PWM 調整を使用せず、出力を効果的に調光し、ちらつきを回避します。ただし、キャリブレーションされていないダイレクトコントロール RGBW カラースペースで作業することは、ARRI のカラー アルゴリズムがアクティブでないことを意味します。したがって、ユーザーが複数のデバイスで同じ色を指定すると、わずかな不一致が発生する可能性があります。ハイスピードモードではLow End Mode, Tungsten Mode, EffectsそしてPWMの設定周波数は無視される。パラメーターを調整する際、SkyPanel は少しの間ブラックアウトになり、新しい数値に設定される。

### 注記

ハイスピードモードでは、エフェクトは無効になる。エフェクトを読み込もうとすると *Not Possible: High Speed Active* と表示される。エフェクトが作動しているままハイスピードモードを作動させると、*Not Possible: Effect Active* と表示される。エフェクトの作動を停止せとか、ハイスピードモードからコントロールモードに変える必要がある。

### スペシャルコントロールモードの設定

- 1) MENUボタン (10) を押し続けてフィックスチャーメニューを開く。
- 2) エンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *Light Control > Special Modes.*
- 3) エンコーダー(4)を回して押すと、特殊モードが設定され、開始されます。
- 4) MENU (10) を押してメニューを閉じる。

### Special Controlモード一覧

コントロールモード	アプリケーション	調光	ちらつき
Stage Mode	ライブオーディエンス	Low Endレンジで有効	ちらつきが生じる
Low End Mode	テレビスタジオ、フィルム	Low Endレンジで有効	ちらつきが生じる可能性がある
Tungsten Mode	Tungstenソースの真似	全レンジで有効	ちらつきが生じる可能性がある
Normal モード (Special モード無効)	通常の調光	全レンジで有効	ちらつきが生じる可能性が低い
Highspeedモード	グローバルタイミングなし	---	ちらつきなし

## 4.11 Host / Client モード

Host / Clientモードでは、ClientフィックスチャーがHostフィックスチャーを誤差なく真似をする。ホスト器具は、5 ピン DMX スルー コネクタ上で DMX 信号を生成します。

最大32の SkyPanelとL-seriesのフィクスチャーをDMXデーターリンクに繋げることができる。一つのデバイスをマスター/フィクスチャーとして選ぶ。

## 注記



マスターを設定する際、必ず一つ以上のデバイスがデーターリンクに内容に気をつける。

一つ以上のフィクスチャーとマスターをつなげた状態で、DMXコントローラをデーターリンクにつなげた場合マスターモードの作動が停止してしまう。

ホストとクライアントのフィクスチャーを設定するには

- 1) MENUボタン (10) を押し続けてフィクスチャーメニューを開く。
- 2) エンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *Light Control > Special Modes.*
- 3) データーリンクにある全てのフィクスチャーをOFFにしてマスターモードの作動を停止。一つのフィクスチャーをデーターリンク内でONを選択して、マスター/フィクスチャーに設定。
- 4) MENU (10) を押してメニューを閉じる。

データーリンクにある全てのフィクスチャーはマスター/フィクスチャーを自動的にコピーする。

Host / Client モードを使用する時の注意：

- ・ Art-NetとsACNは全てのフィクスチャーで無効。
- ・ マスター/フィクスチャーでモードを変更すると、全てのClientフィクスチャーで変更される (CCT, HSI, GEL, Source Matching, RGBW)。
- ・ カラーコントロールをマスター/フィクスチャーで有効にすると、Client フィクスチャーでも有効になる。
- ・ DMXプロトコルバージョンの設定、DMXアドレス、Tungstenモード、Low endモード、ファンとシグナルロスはマスター/フィクスチャーの設定と連動している。
- ・ Cバージョンフィクスチャーのみを繋げる。
- ・ L-シリーズのフィクスチャーはGELモードに対応していない。
- ・ プリセットは使用できない。

## 4.12 校正されたRGBWカラースペース

デフォルトでは、SkyPanelは調整された色空間で色を生成します。カラーは最適化された明るさで生成される。校正されたカラースペースは、Kodak Pro Photo Gamut / ESTA standard E1.54で有効にできる。校正されたカラースペースはグローバルな設定であり、オンボードコントロールとDMX、どちらでも使用できる。

ダイレクト RGBW モードを設定すると、指定された許容範囲内で最適化された明るさで色が生成される。ダイレクトモードの色は調整されず、ユニットごとにわずかな違いが生じる可能性がある。

右回転ノブ (6) を使用して赤、緑、青、または白チャンネルのいずれかを設定し、エンコーダー (4) を回してチャンネルを調整する。右回転ノブ(6) を使用して赤、緑、青、または白チャンネルのいずれかを設定し、エンコーダー(4) を回してチャンネルを調整する。

キャリブレーションされた色空間を開始および停止するには

- 1) MENUボタン (10) を押し続けてフィクスチャーメニューを開く。
- 2) エンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *Light Control > RGBW Color Space.*
- 3) *Direct Control* を選択し、最適化された強度で色を生成する。*Calibrated Color* を選択して、校正された色を生成。
- 4) MENU (10) を押してメニューを閉じる。

## 4.13 周波数の選択

フィクスチャーメニューで周波数を変更できる。画像や自分の眼で点滅が目立った時、周波数を変える。デフォルトの周波数は一番高い周波数である。10段階で周波数を変えることができる。1が一番高い周波数で、10が一番低い設定である。

周波数の設定

- 1) MENUボタン (10) を押し続けてフィクスチャーメニューを開く。
- 2) エンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *Light Control > Frequency Selection.*
- 3) エンコーダー (4) を回して押して、周波数を設定します。周波数は瞬時に変わる。
- 4) MENU (10) を押してメニューを閉じる。

## 4.14 ファンモードの設定

環境の温度とノイズをファンモードで設定できる。以下の表でオプションを参照：

Fan Mode	最高 Power (S360-C のみ)	説明
Normal (S360-C のみ)	1.500 W	ファンが通常起動
Quiet Mode	1.200 W	ファンが常に遅いスピードで起動 (サイレント)
Variable	1.200 W	ファンが通常起動
High Temp	1.200 W	ファンが最大スピードで起動

Fan Mode の設定

- 1) MENUボタン (10) を押し続けてフィクスチャーメニューを開く。
- 2) エンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *Fan Mode*.
- 3) エンコーダー (4) を回して押して、ファンモードを設定します。
- 4) MENU (10) を押してメニューを閉じる。

## 4.15 照明効果を設定する

SkyPanel はスタジオやTVスタジオで使用される様々なライティングエフェクトを含む豊富なエフェクトライブラリーを備えている。SkyPanel は多くのスペシャルエフェクト機械の代わりになるくらい、幅広いエフェクトが使用できる。

フィックスチャーメニューあるいはDMX、Art-Net、もしくはsACNを使いエフェクトを読み込む。全てのエフェクトは独自のパラメーターがある。ライティングエフェクトはプレセットに保存することができ、後に簡単にアクセスも可能。

エフェクトの選択と作動

- 1) MENU ボタン (10) を押してフィックスチャーメニューを開く。
- 2) エンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *Lighting Effects > [Desired Lighting Effect]*。
- 3) エンコーダー (4) を押してエフェクトを開始します。
- 4) パラメーターを以下を参考に設定。

エフェクトを止める

- 1) MENU ボタン (10) を押してフィックスチャーメニューを開く。
- 2) エンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *Lighting Effects*.
- 3) *Off*を選択して。エンコーダー (4) を押して確認します。

エフェクトのStart/Stopファンクション

エフェクトが作動している時、エンコーダ (4) を押してエフェクトの作動を止める。エンコーダ (4) を再度押して、エフェクトを最初から始める。エフェクトが止まっている時、デバイスはブラックアウト状態になり *P:<Effect>* でステータスが表示される。Start/Stopファンクションはコントロールスクリーンのみで使用可能。

DMXモード22(8bit)と23(16bit)で SkyPanel は以下のエフェクトを使用できる：

*Party*

*Party* エフェクトはカラースペクトルを読み込む、あるいは色温度を終わりなく変化させる。  
パラメーター：

- ・ 彩度
- ・ スピード

撮影の時に必要がなくても、打ち上げの際使える設定！

*Candle*

温かい色がキャンドルのように揺らめく設定。CCTで光が繊細にフェードし、明るさも不定期に変化。揺らいだり、止まったり、ランダムな光の動き。

- ・ CCTレンジ
- ・ スピード

*Clouds Passing*

CCTと強度がゆっくりとランダムに変化していくエフェクト。多くの SkyPanelを同時に使っている時に便利な設定。

パラメーター：

- ・ オフセット
- ・ パッシングスピード
- ・ シンクロ

*Club Lights*

ランダムに色が点滅、フラッシュ、そしてフェードするエフェクト。

パラメーター：

- ・ 色の種類
- ・ スピード
- ・ シンクロ

*Color Chase*

多数のLEDライトエンジンを使い、 SkyPanel の表面を色が追いかけあうエフェクト。  
パラメーター：

- ・ 彩度
- ・ スピード
- ・ オフセット
- ・ シンクロ

*Cop Car*

パトカーや救急車のように、青と赤のライトをフラッシュさせるエフェクト。許可なく公共の場で使うのは禁止。

- ・ カラーコンビネーション
- ・ フラッシュパターン

*Explosion*

早いアタックの強い光が、ゆっくり崩壊していくパラメーター：

- ・ トリガー
- ・ 遅延

*Fire*

ライトで炎のような演出。

- ・ CCTレンジ
- ・ 点滅スピード

*Fireworks*

花火のような、様々な強度と色の明るいフラッシュ。

- ・ カラーコンビネーション
- ・ スピード

*Fluorescent Flicker*

蛍光色が一定した間隔で点いたり消えたりする パラメーター：

- ・ スピード
- ・ 周波数

*Light Strobe*

白またはカラーのストローブエフェクト。スピードを1秒につき1回から25回まで調整可能。

**危険**

**危険！転換や発作を招く可能性あり。**

階段付近、廊下や非常口付近で使用しない。

必ずストローブエフェクトを使用することを忠告する。セットやスタジオ入り口に警告を表示したり、チケット販売の段階でプログラムに記載する。

1秒につき10から20以上のフラッシュの場合は特に、連続使用はなるべく避ける。1秒につき5フラッシュ以下は、危険性が下がる。

もし気分を悪くした人がいた時のため、使用するセットや環境にて、発作や転換に対応できるスタッフを準備しておく。

具合の悪い人がいれば、すぐに装置を止める。

なるべく高いところからストローブライトを使用する。

パラメーター：

- ・ CCT
- ・ グリーン・マゼンタポイント
- ・ クロスフェード
- ・ 彩度
- ・ フラッシュスピード

*Lightning*

雷を真似たエフェクト。フラッシュのスピード、強度と回数をコントロールできる。

- ・ CCT
- ・ グリーン・マゼンタポイント
- ・ スピード
- ・ 周波数
- ・ シンクロ

*Papparazzi*

カメラのフラッシュを真似たエフェクト。

- ・ CCT
- ・ フラッシュ種類
- ・ 回数

*Process*

フェードするホワイトライトがライトエンジンを移動するパラメーター。

- ・ スピード
- ・ 方向

*Pulsing*

色とスピードが設定できる鼓動のようなエフェクト。

- ・ CCT
- ・ グリーン・マゼンタポイント
- ・ クロスフェード
- ・ カラー
- ・ 彩度
- ・ 周波数
- ・ 長さ

*Television*

テレビを真似たエフェクト。CCTの強度が何秒かに一度変化する。

- ・ CCTレンジ
- ・ スピード

*Welding*

高速の明るいフラッシュが異なるライトエンジンで崩壊していく。

- ・ スピード
- ・ 最小輝度

#### 4.16 メニューから照明効果を扱う

回転ノブ (5, 6) は、エフェクト実行中にエフェクトのパラメーターを調整します。全てのエフェクト共通の設定方法：

選択されているエフェクトは左上に表示されるエンコーダ (4) で強度を設定  
パラメータの効果を設定します

- 1) エンコーダ (4) を押してエフェクトを止める (ブラックアウト)
- 2) もう一度エンコーダ (4) を押してエフェクトを再開
- 3) MODE (8) を長押ししてパラメーターを起動 (MODEは全てのエフェクトで使用できない)
- 4) MODE (8) をもう一度押してエフェクトのコントロールを閉じる

以下の表でロータリーノブを使った各パラメーターの調節方法を参照：

Effect	Mode	ロータリーノブ	パラメーター
Party Effect		中央	彩度
		右	スピード
Candle		中央	CCTレンジ
		右	スピード
Clouds Passing		中央	オフセット
		右	スピード
Club Lights		中央	カラーレンジ
		右	スピード
Color Chase		中央	オフセット
	X	中央	彩度
		右	スピード
Cop Car		中央	カラーコンビネーション
		右	フラッシュ種類フラッシュパターン
Explosion		プレスエンコーダー	トリガー
		右	遅延
	X		カラー モード
Fire		中央	CCTレンジ
		右	スピード
Fireworks		中央	カラーコンビネーション
		右	スピード
Fluorescent Flicker		中央	スピード
		右	周波数
	X		カラー モード
Light Strobe	X	中央	スピード
		中央	標準ファンクション
		右	標準ファンクション
Lightning		中央	周波数
	X	中央	CCTレンジ
		右	スピード
	X	右	グリーン・マゼンタポイント
Paparazzi		中央	周波数
	X	中央	CCTレンジ
		右	フラッシュバルブ
	X	右	グリーン・マゼンタポイント
Process		中央	スピード
		右	方向
	X		カラー モード
Pulsing		中央	標準ファンクション
	X	中央	長さ
		右	標準ファンクション
	X	右	周波数
Television		中央	CCTレンジ
		右	スピード
Welding		中央	スピード
		右	最小輝度
	X		カラー モード



## 注記

パラメーターをフィックスチャーメニューあるいはDMXを通して起動をする際、内部のエフェクトジェネレーターがエフェクトをリアルタイムで再計算してくれる。エフェクトはそのため少しの間止まつたりする場合がある。パラメーターを変えずに、エフェクトが順調にかかるまでそのまま待機する。

---

## 5 その他の機能

### 5.1 表示動作の設定

背景の光の強度、コントラスト、光具合、そして表示される内容を設定できる。

#### 表示動作の設定

- 1) MENUボタン (10) を押し続けてフィクスチャーメニューを開く。
  - 2) エンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *Display Setup > [Desired Display option]*。
  - 3) 希望の動作を設定し、エンコーダー (4) を押して設定を確認します。
- の フィクスチャーメニュー セクションで各オプションの詳細を見る。

### 5.2 USB機能

SkyPanel にはUSB Aポートが付いています。負荷容量は5V電圧で500mAです。USB-A ポートに過負荷をかけないでください。デバイスは、FAT32 でフォーマットされた USB 1.0 / 2.0 メモリ スティックに対応している。最大 4 GB の容量のメモリースティックでの使用を推奨する。メモリースティックの容量が大きいと、不都合な遅延が発生する可能性がある。以下のUSB機能が利用可能です:

- ・ ファーウェアのアップデート
- ・ ライトプリセットリストの保存とロード
- ・ DMX プリセット リストの保存とロード
- ・ フィクスチャ設定の保存とロード
- ・ エラーとサービスのログを保存する

USB メモリ スティックを使用して、器具と デバイス リモートのファームウェアを更新できる。

- 1) SkyPanel アップデートファイルをUSBメモリースティックにコピーする。
- 2) USBメモリースティックをUSB-Aコネクターに接続。
- 3) しばらくすると、デバイスは USB メモリ スティック上のアップデート ファイルを検出します。
- 4) アップデートを *Yes*を押して承認。
- 5) アップデートが完了するまで待ち、新しいファームウェアで デバイス を再起動。
- 6) USBメモリースティックを外す。

リモコンを更新するには

リモート コントロールと SkyPanel のファームウェア バージョンが異なる場合、リモート コントロールは接続されているSkyPanel によって自動的にアップグレードおよびダウングレードされます。

#### 注記

DMXケーブルをすべて抜いてからUSBメモリースティックを使う。USBスティックをアップデート、またはデータ転送宙に抜かない。

USBスティックをアップデート、またはデータ転送宙に抜かない。ファイルが破損する可能性がある。フィクスチャを機能状態に戻すには、リカバリ更新を実行する必要がある場合があります。



### 5.3 ライトプリセッタリスト

器具ライトのプリセッタリストはUSBメモリスティックに保存し、別のSkyPanelにアップロードできる。

ライトプリセッタリストを保存

- 1) USBメモリスティックをSkyPanelのUSB-Aコネクタに接続する。
- 2) MENUボタン(10)を押し続けてフィクスチャーメニューを開く。
- 3) エンコーダー(4)を回して押してメニューを開きます *USB Functions > Save Light Presets.*
- 4) Yesを選択し、エンコーダ(4)を押して設定を確定する。Noを押して保存せず破棄をする。
- 5) プリセッタリストはUSBメモリスティックに保存される。

プリセッタリストは30個までUSBメモリスティックに保存できる。ファイル名は<製品シリアル番号>-Presetxx.jsonで保存をする。SkyPanelは、USBメモリスティック上のライトプリセッタリストを識別するためのPresetxx.jsonを探しています。ライトプリセッタリストの名前を変更するときは、必ず文字列を保持してください。そうしないと、SkyPanelではファイルが見つかりません。

ライトプリセッタリストをロード

- 1) つ以上のプリセッタリストを含むUSBメモリスティックをSkyPanelのUSB-Aコネクタに接続します。
- 2) MENUボタン(10)を押し続けてフィクスチャーメニューを開く。
- 3) エンコーダー(4)を回して押して、メニュー *USB Functions > Load Fix.*
- 4) エンコーダー(4)を押すと、USBメモリスティックのルートディレクトリで利用可能なプリセッタリストのリストが開く。
- 5) エンコーダー(4)を回して押して、プリセッタリストを設定およびロードする。SkyPanelの内部プリセッタリストはプリセッタリストによって上書きされる。

### 5.4 フィクスチャ設定の保存と起動

フィクスチャの設定はUSBメモリスティックに保存し、別のSkyPanelにアップロードできる。このファイルには、DMXアドレスとIP設定を除くすべてのフィクスチャ設定が含まれている。

フィクスチャ設定を保存

- 1) USBメモリスティックをSkyPanelのUSB-Aコネクタに接続する。
- 2) MENUボタン(10)を押し続けてフィクスチャーメニューを開く。
- 3) エンコーダー(4)を回して押してメニューを開きます *USB Functions > Save Fix..Settings.*
- 4) Yesを選択し、エンコーダ(4)を押して設定を確定する。Noを押して保存せず破棄をする。
- 5) プリセッタリストはUSBメモリスティックに保存される。

プリセッタリストは30個までUSBメモリスティックに保存できる。ファイル名は<製品シリアル番号>-Clonexx.jsonで保存をする。SkyPanelは、USBメモリスティック上の設定ファイルを識別するためにClonexx.jsonを探しています。フィクスチャ設定ファイルの名前を変更するときは、必ず文字列を保持してください。そうしないと、SkyPanelではファイルが見つかりません。

フィクスチャ設定の起動

- 1) フィクスチャ設定が保存されているUSBメモリスティックをデバイスのUSB-Aコネクターに接続。
- 2) MENUボタン(10)を押し続けてフィクスチャーメニューを開く。
- 3) エンコーダー(4)を回して押してメニューを開きます *USB Functions > Load Fix.Settings.*
- 4) エンコーダー(4)を押して、USBメモリスティックのルートディレクトリにあるフィクスチャ設定ファイルのリストを開く。
- 5) エンコーダ(4)を回してフィクスチャ設定を選択。
- 6) エンコーダ(4)を押してフィクスチャ設定を選択。選択したフィクスチャ設定が起動され、SkyPanelの元のフィクスチャ設定が上書きされる。

## 5.5 エラーとサービスログの保存

ARRIサービスセンターにエラーとサービスログを送る事が必要な場合がある。ログファイルはUSBメモリースティックにダウンロードできる。

ファイル名には、フィックスチャの日付、時刻、シリアル番号が含まれます。

ログファイルを保存

- 1) USB メモリ スティックを SkyPanel の USB-A コネクタに接続する。
- 2) MENUボタン (10) を押し続けてフィックスチャーメニューを開く。
- 3) エンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *USB Functions > Save Error Log.*
- 4) Yes を選択し、エンコーダ (4) を押して設定を確定する。No を押して保存せず破棄をする。
- 5) ログファイルはUSBメモリースティックに保存される。

## 5.6 情報の読み出しと設定の変更

- 1) MENUボタン (10) を押し続けてフィックスチャーメニューを開く。
- 2) エンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *Enabled Functions.*  
オプションを設定し、エンコーダー (4) を押してステータスを変更する。

## 5.7 ファクトリーリセット

- 1) MENUボタン (10) を押し続けてフィックスチャーメニューを開く。
- 2) エンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *Factory Reset.*
- 3) エンコーダ (4) を回してオプション” YES” を選択してファクトリーリセットをする。” BACK” (11)で中止する。

SkyPanel 再起動。

## 5.8 ライトエンジン作用が有効

ARRIは常に最高品質のランプヘッドを提供している。LEDは進化し続けている新しい種類のライトソースである。SkyPanel1が一つの装置で様々なライトエンジンを使える理由はLEDにある。多くの場合、最新のLED技術を備えている新しい機械が一番の明るさを出すことができる。ライトエンジンは機械の明るさを調節する為に使用することができる。

全ての装置の明るさを統一するために機械の最終的な明るさには限度がある。

ライトエンジンの作用は以下のコントロールモードを影響している：

- CCT
- HSI
- RGBW校正
- GEL モード
- Source Matching
- X, Y 座標
- ライティング効果ライティングエフェクト

### ライトエンジン情報の読み込み

- 1) MENUボタン (10) を押し続けてフィクスチャーメニューを開く。
- 2) エンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *Fixture Settings > LE Compensation > Light Engine Status.*
  - ⇒ *LE Gen1 Installed:* この器具には第 1 世代の光エンジンが搭載されています。
  - ⇒ *LE Gen2 or above installed:* このデバイスには第 2 世代以降の光エンジンが搭載されています。
  - ⇒ *LE Gen Mixed! - Call Service:* のメッセージが表示されたら違う世代のライトエンジンあるいはフィクスチャーを使用する。フィクスチャーが正常に作動していない。ペアリングに問題があることが多い。ARRIサービスに連絡する。

### ライトエンジン作用の動作

- 1) MENUボタン (10) を押し続けてフィクスチャーメニューを開く。
- 2) Tエンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *Fixture Settings > LE Compensation > Light Engine Compensation.*
- 3) *On* を選び、ライトエンジン作用を作動。Set *Off*を選んで解除。(この機能は、ライトエンジン第 1 世代の (この機能は、ライトエンジン第 1 世代の SkyPanelでは使用できません。)
- 4) デバイスは、LE Gen1がインストールされている SkyPanelと一致するよう出力を調整します。

を参照。 フィクスチャーメニューの概要。

## 6 DMX

### 6.1 DMX の優先順位

フィクスチャは、DMX、sACN、または Art-Net 経由で制御できます。複数の制御方法を同時に使用する場合は、以下の優先順位ルールに従ってください。

制御方法	優先事項
DMX	DMX コマンドは、sACN および Art-Net コマンドを上書きします。
sACN	sACNコマンドは Art-Netコマンドを上書きしますが、DMXコマンドによって上書きされます。
Art-Net	Art-Netコマンドは、sACN および DMXコマンドによって上書きされます。

### 6.2 DMXアドレス

DMXデータネットワーク内のDMXを使って SkyPanel をコントロールする場合[Pro、フィクスチャーにDMXアドレスを指定する必要がある。

DMX アドレスの指定

- 1) MENUボタン (10) を押し続けてフィクスチャーメニューを開く。
- 2) エンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *DMX Settings > DMX Address*
- 3) エンコーダー (4) を回して押して、DMX アドレスを設定します。
- 4) MENU (10) を押してメニューを閉じる。

### 6.3 DMXモード

SkyPanelでは様々なDMXモードが使える。全てのDMXモードの詳細はARRIのウェブサイト [www.ari.com](http://www.ari.com)で無料ダウンロードできる "SkyPanel DMXプロトコル詳細" を参照。

DMXモードの設定

- 1) MENUボタン (10) を押し続けてフィクスチャーメニューを開く。
- 2) エンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *DMX Settings > DMX Mode.*
- 3) エンコーダー (4) を回して押して、DMX モードを設定します。
- 4) MENU (10) を押してメニューを閉じる。

### 6.4 DMX シグナルロス状態

フィクスチャーの状態をコントロールシグナルが無い時も設定できる。以下の表でオプションを参照：

オプション	説明
Hold Last Command	フィクスチャーの電源が切れる、もしくは次のDMXデータが確認されるまで最後に使用したDMXバリューが使用される。
Black Out	フィクスチャーの強度が0%になる。
2分ホールドからのフェードアウト	最後の送信されたDMXバリューが2分使用され、2分経つと強度は0%になる。2分が経過してから送信されたDMXバリューがあった場合、そちらが使用される。

DMX-Signal-Loss Behaviorの設定

- 1) MENUボタン (10) を押し続けてフィクスチャーメニューを開く。
- 2) Tエンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *DMX Settings > DMX Loss Behavior.*
- 3) エンコーダー (4) を回して押して、オプションを設定します。
- 4) MENU (10) を押してメニューを閉じる。

**注記**

DMX 信号損失動作の設定は、DMXプリセットの一部です。DMXプリセットを呼び出すときに設定が変更される場合があります。

## 6.5 DMXプロトコルのバージョン

SkyPanel は、さまざまな DMXプロトコルバージョンをサポートしています。チャネルの説明が変更されるか、チャネルが追加されると、新しいバージョンの DMX プロトコルが公開されます。既存の DMXインストールとの互換性を確保するために、フィクスチャが使用する DMXプロトコルのバージョンを設定できます。

DMX プロトコルのバージョンを設定

- 1) MENUボタン (10) を押し続けてフィクスチャーメニューを開く。
- 2) エンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *DMX Settings > DMX Protocol Version*。
- 3) エンコーダー (4) を回して押して、DMX プロトコルのバージョンを設定します。
- 4) MENU (10) を押してメニューを閉じる。

## 6.6 拡張カラーコントロールを設定する

SkyPanel は、DMX設定メニューから拡張カラー コントロールを開始するときに、すべての DMXモードに 8 つの追加パラメータを適用します。モードに応じて、フィクスチャごとに 8 (8 ビットモード) または 16 (16 ビットモードおよびコース/ファイン) の DMXチャンネルが追加されます。全てのDMXモードの詳細はARRIのウェブサイト [www.arri.com](http://www.arri.com)で無料ダウンロードできる *SkyPanel DMX プロトコル詳細* を参照。

**注記**

拡張カラー コントロールは、LE DMXコントロール モードでは使用できません。

## 6.7 DMXフレームフィルター

デフォルト設定として、SkyPanel は受信した制御データの整合性をチェックします。データストリームの特定のパラメータ（受信した DMXチャンネルの数など）が変化した場合、フィクスチャは警告メッセージを表示し、データストリームを有効な制御信号として受け入れる前に再度チェックします。データストリームの長さが繰り返し変更される場合、チェックによってフィクスチャの予期しない動作が発生する可能性があります。したがって、この機能は無効にすることができます。その後、デバイスは受信したすべての制御データをさらに確認せずに受け入れます。

DMX フレーム フィルタをアクティブ化および非アクティブ化する

- 1) MENUボタン (10) を押し続けてフィクスチャーメニューを開く。
- 2) エンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *DMX Settings > DMX Framefilter*。
- 3) エンコーダー (4) を回して押して、ファンモードを設定します。
- 4) MENU (10) を押してメニューを閉じる。

## 6.8 ワイヤレスDMX

SkyPanel S360-C にはワイヤレス DMX レシーバーが付いています。LumenRadio CRMXおよび CRMX2 プロトコルをサポートします。

DMX トライフィック (DMX-512A, ArtNet あるいは sACN) がない状態でワイヤレスDMXをフィクスチャーメニューで起動すると、SkyPanel S360-C はワイヤレスDMXをRDMディスカバリーコマンドを経由してリンクできる。一度リンクが成功すると、[Projekttitle] Variant 1 はワイヤレスDMXデータを処理し、ワイヤレスを経由してRDMリクエストに反応する。

CRMX が開始され、CRMX データが受信され、SkyPanel S360-C によって処理されるとすぐに、器具メニュー パネルの DATA LED が青から緑にフェードし、続いて 2 秒間緑から青にフェードします。

CRMXデータ状態が OFF に設定されている場合、ワイヤレスDMX およびワイヤレス RDMトライフィックは処理されません。

SkyPanel S360-C を DMX トランスマッターを使いリンクする

- 1) MENUボタン (10) を押し続けてフィクスチャーメニューを開く。
- 2) *DMX Settings > CRMX Settings > CRMX Connection* メニューを開きます。
- 3) 8 桁のキーを入力するには、エンコーダー (4) を押し、エンコーダー (4) を回して 8 桁のリンクキーを入力または変更します。
- 4) 中央 (5) と右 (6) のノブを回すか、エンコーダー (4) を押して桁を設定し、次の桁を設定します。キーを変更すると、数字が反転表示されます。
- 5) カーソルが右端にあるときにエンコーダー (4) を押すと、8 桁のリンクキーの入力が終了し、次のステップに進みます。
- 6) エンコーダー (4) を回して押して、CRMXモード (CRMX クラシックまたは CRMX2) を設定します。
- 7) エンコーダー (4) を回して押して、出力番号 (範囲 A...H (CRMX 2)、A、C、E、G (CRMXクラシック)) を設定します。
- 8) 以上でリンク手順は完了です。CRMX トランスマッターが器具を検出できるようになりました。
- 9) MENU (10) を押してメニューを閉じる。

SkyPanel S360-CをワイヤレスDMXトランスマッターから解除する方法

- 1) MENUボタン (10) を押し続けてフィクスチャーメニューを開く。
- 2) *DMX Settings > CRMX Settings > CRMX Data State* メニューを開きます。
- 3) エンコーダ (4) を押して設定します *Off*。これで、器具は送信機からリンク解除されました。
- 4) MENU (10) を押してメニューを閉じる。

有線インターフェイス経由で DMX または RDM トрафィックが検出されるとすぐに、無線DMX または RDM データは無視されます。SkyPanel S360-C は、有線 DMX/RDM トрафィックを処理します。

## 注記

すべての DMX モードの詳細な概要については、文書「*SkyPanel DMXプロトコル仕様*」を参照してください。ARRI の Web サイト [www.arri.com](http://www.arri.com) から無料でダウンロードできます。

## 6.9 DMX プリセット

SkyPanel は、10 個のユーザー定義 DMX プリセットをサポートします。

- ・ DMXアドレス
- ・ DMXモード
- ・ DMX ECC チャネル
- ・ CRMX データ状態
- ・ Artnet / sACN 状態
- ・ マージモード
- ・ Art-Net ユニバース (該当する場合 - sACN では表示されません)
- ・ sACN ユニバース (該当する場合 - Artnet では表示されません)
- ・ Art-Net ネット (該当する場合 - sACN では表示されません)
- ・ sACN ネット(該当する場合 - Artnet では表示されません)
- ・ DMXゲートウェイ
- ・ DMX 損失の動作
- ・ DMXフレームフィルター
- ・ DMXプロトコルバージョン
- ・ RDM状態

DMX プリセット リストを保存

- 1) MENU (10) と PRESET (7) を同時に長押しすると、ディスプレイに表示されている現在のページとは別に DMX プリセットリストが保存されます。
- 2) エンコーダー (4) を回して押して、DMX プリセットリストを目的のスロットに保存します。

DMX プリセット リストをアクティブにする

- 1) MENU (10) と PRESET (7) を同時に短く押すと、ディスプレイに現在表示されているページとは別に DMXプリセットリストが開きます。
- 2) エンコーダー (4) を回して 2 回押して、DMXプリセットリストを開始します。

## 注記

ホスト/クライアント モードが開始された場合: DMXプリセットをロードすると、ユーザーが新しい設定を期待するため、ホスト/クライアントモードが無効になります。

## 6.10 DMX 設定の保存とロード

DMX プリセットリストを USB メモリ スティックに保存し、そのリストを別の SkyPanel にアップロードできます。

DMX プリセットリストを保存する

- 1) USB メモリ スティックを SkyPanel の USB-A コネクタに接続する。
- 2) MENUボタン (10) を押し続けてフィックスチャーメニューを開く。
- 3) エンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *USB Functions > Save Light Presets.*
- 4) エンコーダー (4) を回して押して、DMX プリセットリストを設定します。Yes を設定して設定を確認します。No を押して保存せず破棄をする。
- 5) DMX 設定は USB メモリスティックに保存されます。

USB メモリースティックのルートディレクトリには、最大 10 個の DMX プリセットリストを保存できます。ファイル名は <text>-DMXPres<No>.json です。SkyPanel は、USB メモリ スティック上の DMX プリセットファイルを識別するためにこの文字列を探します。DMX プリセットファイルの名前を変更するときは、必ず文字列を保持してください。そうしないと、ファイルはデバイスによって検出されません。

DMX プリセットリストをロードする

- 1) USB メモリ スティックを SkyPanel の USB-A コネクタに接続する。
- 2) MENUボタン (10) を押し続けてフィックスチャーメニューを開く。
- 3) エンコーダー (4) を回して押してメニューを開きます *USB Functions > Save Light Presets.*
- 4) エンコーダー (4) を回して押して、DMX プリセットリストを設定します。Yes を設定して設定を確認します。No を押して保存せず破棄をする。
- 5) DMX プリセットリストがフィックスチャにロードされます。フィックスチャの DMX プリセットリストを上書きします。

## 6.11 DMXモニター

有効な制御データが受信されると、SkyPanel がディスプレイの DMXモニターの 1 ページ目を自動的に開きます。右上隅には DMX と表示され、左上隅には RGBW cal. などの特別な設定が表示されます。またはローエンドモード、開始時。

さらに、ディスプレイには 2 ページ目があり、フィックスチャのさまざまな値とパラメータが表示されます。ここには DMX 値はリストされていません。代わりに、強度や CCT などの要素がプレーンテキストとして書き込まれます。制御ネットワークのトラブルシューティングに便利な機能です。

エンコーダーを回すとページが切り替わります。ページ 2 の長さは、送信されるモードと値に応じて変わります。

1 ページ目に表示される情報:

- ・ DMX モードと説明
- ・ 使用される DMXアドレスとチャネル
- ・ DMXのフットプリントサイズ

## 2ページ目に表示される情報

DMXモニターの 2 ページ目に表示される情報は、アクティブな DMXモードによって異なります。

DMX モードを利用する...	詳細
すべての DMX モード	強度
クロスフェード(アクティブな場合)	X-Fade (クロスフェード) 注: X-Fade が 0 または 255 の場合、アクティブなカラーコントロール情報のみが表示されます。
CCT	CCT +/- グリーン
RGBW	レッド グリーン ブルー ホワイト
H S I	色相 彩度
ゲル	(ベース) CCT カラーマッチ ブランド Cat. (カテゴリー) 名前 No. (ゲルナンバー) X-Trans (トランジションタイプ)
XY	X 数値 Y数値 X-Trans (トランジションタイプ)
ソースマッチング	Cat. (カテゴリー) ソース
エフェクト	Effect

アクティブなエフェクトに応じて、最大 7 つの追加パラメータを表示できます。詳細については、「DMX プロトコル仕様」ドキュメントを参照してください。

個々のライト エンジン制御モードでは、DMX モニター画面にカラー情報が表示されません。

## 7 ネットワーク機能

### 7.1 Art-Net とsACN

ファームウェアバージョン2.0から SkyPanel はArt-Netに対応している。Art-Netはネットワークプロトコルを使い、機器を操作できる。

ここでは、Art-Net で使用されるいくつかの基本的な用語について簡単に説明します。更に詳しい情報はArt-Netのウェブサイト [www.artisticlicence.com](http://www.artisticlicence.com) を参照。

デバイス は10個までのユニバースがArt-Netに対応している。

基本的なルールは以下の通り :

- Art-Net Art-DMXのユニバースは最高4つまでがベスト
- sACN全てのユニバース。

更に詳しいsACNの情報はANSI E1.31を参照。ネットワークをきちんと設定する。

*Art-Net IP アドレス*

IPアドレスをマニュアルで設定する時は、レンジが 2.0.0.1 から 2.255.255.255 (ネットワークオフ) もしくは 10.0.0.1 から 10.255.255.255 (ネットワークオン) である事を確認。それ以外の範囲は Art-Net 標準に従っていないため、問題が発生する可能性がある。

*Art-Net Net*

Netとは、16連続のSub-Net、もしくは256連続のUniversesを示している。合計128のNetがある。

*Sub-Net*

Sub-Net とは、16連続のUniversesを示している。(subnet maskと間違わないように)。

*Universe*

Universeとは、512チャンネルの中のシングルDMX512フレームを示している。

*Art-Net Merge Mode*

Art-Netプロトコルは、複数のノードあるいはコントールを同じUniverse でArtDmxデータに送る事ができる。Mergeは二つのソースに限られていて。それ以上のソースはノードに認識されない。

合併は、LTPまたはHTPの合併 (LTP =最新は優先権を、HTP =最高は優先権を引き継ぐ) として機能することができます。

*Art-Net Gateway*

Art-Net gateway を有効にすると、SkyPanel の512チャンネル全てのUniverseをDMXコネクターで使用できる。

“Art-Net Settings” のメニューは、Art-Net networkで SkyPanel を設定できる全てのパラメーターを備えている。詳細な説明については、セクションを参照してください フィックスチャーメニューの特徴。

Art-NetゲートウェイはRDM対応です。統合RDMコントローラは、ネットワーク内のすべてのRDM互換デバイスを検出できます。Art-Net上でのRDM管理がサポートされています。

### 7.2 ネットワーク設定

の ネットワーク設定 Network Settings のメニューは、SkyPanel をネットワーク内で設定するのに様々なパラメーターが使用できる。

*Link*

デバイス がネットワークに接続されているかを確認できる。

*IP*

デバイス がネットワークに接続されている時のIPアドレスが表示される。

*Mode*

IPモードを設定できる。DHCPモードでは、IPアドレス、ゲートウェイ、DNS1とDNS2が自動的にフィックスチャーに割り当てられる。このモードを使用するのがオススメ。

パラメーター”Art-Net 2.x.x.x.x” と ”Art-Net 10.x.x.x” はフィックスチャーをArt-Netネットワークで設定するのに使う。”Manual” を選択すると、フィックスされたIPアドレスと指定することができる。

*Mask*

ネットワークマスクの表示。

*Gateway*

ゲートウェイアドレスの表示。

**DNS1 / DNS2**

フィクスチャーのDNSアドレス。

**MAC**

フィクスチャーのMACアドレス。

**BONJ**

“Bonjour” アプリで、 SkyPanel のネットワークは自動的に探せる。Bonjourを” BONJ” メニューで有効・無効にできる。RDMあるいはWeb Portalを使ってステータスの設定もできる。

Bonjourを無効にすると、フィクスチャーは自動的にARRI Lighting サービスマネージャーに認証されない。

**MDNS**

MDNSアドレスの表示（デバイスのIDとシリアル番号）

### 7.3 ARRI Lighting Service Manager

ARRI ライティングスマネージャーのマニュアルで、ARRIライティングスマネージャーの情報を調べる [www.ari.com/lightingsoftware](http://www.ari.com/lightingsoftware)にて無料でダウンロード可能。

### 7.4 Web Portal

SkyPanel はネットワークに接続されると、ウェブページが指定される。SkyPanel のIPアドレスをウェブブラウザに入力し、ウェブポータルページを開き、以下の項目を設定できる。IPアドレス無しでも、ウェブポータルはBonjourサービスを使って探すこともできる。

ウェブポータルの特徴：

- ・ コントロールモードの選択
- ・ ライトエフェクトを有効・無効
- ・ DMX設定の読み取りと変更
- ・ ネットワーク設定の読み取りと変更
- ・ フィクスチャー設定の読み取りと変更
- ・ フィクスチャー状態の読み取り
- ・ DMXモニター



## 注記

最新のウェブブラウザを使用する。古いバージョンはデバイスに対応していない場合がある。などのARRI Webポータルでは、次のブラウザが正常にテストされています。Safari, Chrome, Firefox, Opera, IE 11。

ショー開催中にWebポータルにアクセスしないでください。Webポータルとのデータ交換は反応が遅くなり、予期しない動作を引き起こす可能性があります。

The screenshot displays the ARRI SkyPanel web interface with the following sections:

- Light Control** (Top navigation bar): Includes icons for CCT, HSI, GEL SELECTION, SOURCE MATCHING, RGBW, and XY COORDINATE.
- Network Settings** (Section header): IP Settings table with rows for DHCP, ART-Net 2xxx, ART-Net 10.xxx, and Manual. IP Address input field: 2 . 117 . 122 . 17. Subnet Mask input field: 255 . 0 . 0 . 0.
- Lighting Effects** (Section header): Grid of 15 effect icons with labels: CANDLE, CLOUDS PASSING, CLUB LIGHTS, COLOR CHASE, COP CAR, EXPLOSION, FIRE; FIREWORKS, FLUORESCENT FLICKER, LIGHT STROBE, LIGHTNING, PAPARAZZI, PARTY, PROCESS; PULSING, TELEVISION, WELDING.

## 8 メニュー構成

ファームウェアバージョン4.4

MENUボタンでフィクスチャーメニューを開く。BACKボタンはサブメニューを閉じたり、アクションを取り消す(Escape)。

エンコーダーを回してスクロールします。エンコーダーを押して項目を選択します。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	説明 (デフォルト = ポールド)	
DMX Settings	DMX Address	001 - 512		アドレススタート	
	DMX Mode	P1 - P31		DMX Mode	
	DMX Loss Behavior	Hold Last Command		フィクスチャーは最後のコントロール数値をホールド。	
		Black Out		調光がスリープ状態	
	DMX Protocol Version	Hold 2 Min Fade Out		フィクスチャーは最後のコントロール数値を2分ホールドしたのち、フェードアウト。	
		Version 3.4		DMXプロトコルのバージョン	
		Version 4.0			
		Version 4.1			
		Version 4.2			
		Version 4.3			
		Version 4.4			
Ext. Color Control	Off			DMX カラーコントロール無効	
	On			DMX カラーコントロール有効	
	RDM State	On		RDM コミュニケーション起動	
		Off		RDM communication stopped	
	DMX Frame Filter	Off		DMX フレーム フィルターが停止	
		On		DMX フレーム フィルターが開始	
	CRMX Settings (S360-Cのみ)	CRM	Off	CRMX 停止	
			On	CRMX アクティブ	
		Linking Connection	Linking Key	エンコーダーとリンクキーを入力し、ノブを中右に回す。一番右の位置のエンコーダーを押すと次の画面に進む。	
			CRMX Mode	CRMX モード (クラシックまたは CRMX2) を開始。エンコーダーを押して次の画面に進みます。	
			CRMX Output	CRMXアウトプット入力。エンコーダーを押して次の画面に進みます。	
Fan Mode	Normal (S360-C のみ)			ファン温度調節	
	Quiet Mode			ファンスピード低速	
	Variable			ファン温度調節	
	High Temp			ファンスピード高速	
Light Mode	CCT			ホワイトライト、色温度、グリーンマゼンタ補正が調整可能。	
	H S I			カラーライト、トーン、彩度調整可能。	
	Gel			GEL モード、gel ライブラリー使用可能、色温度 3.200 K あるいは 5.600 K。	
	Source Matching			デバイスは特定の光源をエミュレートします。	
	RGBW			RGBW モード、カラーミキシング。	
	x, y Coord.			XY座標に従い色を設定。	
	Light Control	Dimming Curve	Exponential	右上がり調光カーブ	
			Linear	直線調光カーブ	
			Logarithmic	対数の調光カーブ	
			S-Curve	上昇と対数を合わせた調光カーブ	
		Special Modes	Low End Mode	Off 点滅なしのライト On 調光レベルが低い	
			Stage Mode	Off Stage モードオフ	

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	説明 (デフォルト =ボールド)
Light Control	Special Modes	Stage Mode	On	Stage モード有効
		Tungsten Mode	<b>Off</b>	調光したときに色温度が最適化される
		On		Tungsten ライトを真似る
		High Speed Mode	<b>Off</b>	Highspeed モードオフ
		On		Highspeed モードオン
	Host / Client Mode	<b>Off</b>		Host/Client Mode モードオフ
		On		Host/Client Modeモードアクティブ
	RGBW Color Space	<b>Calibrated Color</b>		RGBWカラーがキャリブレートされている（最適化されたトーン）
		Direct Color		明るさが最適化され、RGBWモードの色がまざっている
	Frequency Selection	<b>Default</b>		デフォルト回数（最大回数）
		Frequency 1		調整された回数
		Frequency 2		
		Frequency 3		
		Frequency 4		
		Frequency 5		
		Frequency 6		
		Frequency 7		
		Frequency 8		
		Frequency 9		
		Frequency 10		
Lighting Effects	<b>Off</b>			単体エフェクトなし
	Party Effect			パーティーモード
	Candle			キャンドル
	Clouds Passing			流れ行く雲
	Club Lights			クラブライト
	Color Chase			カラーチェイス
	Cop Car			パトカーパトカー
	Explosion			爆発
	Fire			炎
	Fireworks			花火
	Fluorescent Flicker			蛍光色のちらつき
	Light Strobe			ストローブライト
	Lightning			雷
	Paparazzi			パパラッチ
	Process			プロセス
	Pulsing			鼓動
	Television			テレビ
	Welding			溶接
Display Setup	Display Illumination	<b>Always On</b>		ディスプレイイルミネーションが常にしている
		Off After 10 Sec.		ディスプレイイルミネーションは10秒後にスリープ状態に
	Display Brightness	0 - 10		ディスプレイイルミネーションの明るさ
	Display Contrast	01 - 03 - 10		ディスプレイ内容のコントラスト
	Display Orientation	<b>Normal</b>		ディスプレイ内容回転なし
		Upside Down		ディスプレイ内容180度回転
	Display Error Mode	Normal		エラーコードを表示、ディスプレイイルミネーションが赤色に変わる
		<b>Hidden</b>		エラーコードを表示、ディスプレイイルミネーションがオフになる

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	説明 (デフォルト =ボールド)
USB機能	Light Preset	Save Light Preset	No	USBにプレセットリストを保存 (p. 22を参照)
			Yes	
	DMX Preset	Load Light Preset	[List]	USBにプレセットリストを保存。エンコーダーでライトのプリセットリストを選択します。
			いいえ	DMX プリセットリストを USB メモリ スティックに保存。
		Save DMX Preset	はい	
			いいえ	USB メモリースティックから DMX プリセットリストをロード。エンコーダーでプリセットリストを設定。
	Fixture Setting	Load DMX Preset	はい	
			いいえ	USBにフィクスチャー設定を保存
		Save Fix. Settings.	はい	
			[List]	USBにフィクスチャー設定を保存。エンコーダーを使用してフィクスチャの設定を選択します。
	Save Error Log			USBにエラーログをサービスログを保存。
Art-Net and sACN	Art-Net / sACN State	<b>Automatic</b>		どちらのプロトコルも認識
		Art-Net only		Art-Netのみ認識
		sACN only		sACN のみ認識
		Off		ネットワークプロトコルを認識しない
	Art-Net Net	<b>0 - 127</b>		Art-Net netを選択
	Art-Net Subnet	<b>0 - 15</b>		Art-Net netにある Art-Net subnetを選択
	Art-Net Universe	<b>0 - 15</b>		Art-Net subnetにある Art-Net universeを選択
	Merge Mode	<b>Latest Takes Precedence</b>		Merge-Mode „LTP“ を選択(最後の動作が有効)
		Highest Takes Precedence		Merge-Mode „HTP“ を選択
	Gateway	<b>On</b>		ゲートウェイ停止
		Off		ゲートウェイ起動
	sACN Universe	<b>1 … 65.000</b>		sACN universe
	IP Mode			ネットワーク設定 → モードへのショートカット (下記を参照)
ネットワーク設定	Link	Connection OK		コネクション安定
		<b>No Connection</b>		コネクションなし
	IP	AAA. BBB. CCC. DDD		フィクスチャーのIPアドレス マニュアルモードで作動中の場合： AAA = 10, 172 または 192 BBB = 0 - 255, 16 - 31 または 168 CCC = 0 - 255 DDD = 0 - 255 これらを変更すると、IPモードは自動的に”manual”になる
		<b>DHCP</b>		DHCP モード使用
		Art-Net 2.B.C.D		Art-Net net 2.B.C.D使用
		Art-Net 10.B.C.D		Art-Net net 10.B.C.D使用
		Manual		„IP Address“に飛ぶ
		Mask		フィクスチャーメニューで変更不可能
		GW		フィクスチャーメニューで変更不可能
	DNS1	x.x.x.x		フィクスチャーメニューで変更不可能
	DNS2	x.x.x.x		フィクスチャーメニューで変更不可能

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	説明 (デフォルト =ボールド)
ネットワーク 設定	MAC	XX:XX:XX:XX:XX:X X		MAC アドレス
	BONJ	On		ポンジュール州
		Off		
	MDNS	Sxx-xxxxxx-xxxx		シリアル番号
Enabled Menu	Fan Mode			各オプションの設定を参照。エンコーダー(4)を押して、選択したオプションの設定を変更します。
	Dimm. Curve			
	Low End			
	Stage Mode			
	Tungsten			
	RGBW C-Space			
	High Speed			
	Frequency			
	Host/Client			
	Effect			
	Art-Net/sACN			
	DMX Ext. Col.			
	RDM State			
	Gateway			
Fixture Info	IP Mode			
	Bonjour			
	USB Mode			
	Fixture Status	System Ready		エラーなし
		Power		エラー メッセージ( <a href="http://www.arri.com">www.arri.com</a> から無料でダウンロードできる安全性と設置マニュアルを参照)
		Data		
		Status		
		-> Clear		
Fixture Settings	Light Engine Temp.	xx.x ° C xx.x ° F		最新エンジン温度
	Hour Counter	xxh - Light Engine yyh - System		フィクスチャーを起動してから、ライトエンジンが動いている時間
	Battery Status	x.y V		外付けバッテリーの最新ボルテージ
	Fixture Serial No.	L1. xxxxxxxx-xxx		フィクスチャーのシリアル番号
	Firmware Versions	FW: x.xx.xx.xxxx CP: x.xx.xx.xxxx		メインとディスプレイのファームウェアバージョン
	バッテリー残量低下警告 (S360-C ではない)			バッテリ低下警告しきい値
	USB Mode	Normal		USB ポート作動
LE Compensation		Service		USBポート停止中。ARRIサービスから連絡がない限りこの設定は変えない。故障の危険性あり！
		Light Engine Status		インストールされているLEが表示される
	の状況 (LE GEN1がインストールされてある場合無効)	On		ライトエンジン作用が有効
		Off		ライトエンジン作用が無効
Factory Reset	No			動作を中止
	Yes			ファクトリー設定表示

## 標準CCT そしてX、Y バリュेをDMXバリュेで表示

	CCT	x, y
8ビット解像度	$DMX_{\text{値値}} = (CCT_{\text{値値}} - 2.800) / 28.235$	$DMX_{x-\text{値値}} = (x_{\text{座標}} \times 255) / 0.8$
	$CCT_{\text{値値}} = (DMX_{\text{値値}} - 28.235) / 2.800$	$DMX_{y-\text{値値}} = (y_{\text{座標}} \times 255) / 0.8$
16ビット解像度	$DMX_{\text{値値}} = (CCT_{\text{値値}} - 2.800) / 0.109865$	$DMX_{x-\text{値値}} = (x_{\text{座標}} \times 65.535) / 0.8$
	$CCT_{\text{値値}} = (DMX_{\text{値値}} - 0.109865) / 2.800$	$DMX_{y-\text{値値}} = (y_{\text{座標}} \times 65.535) / 0.8$

## 9 RDMコマンド

ARRIのホームページ、[arri.com](http://arri.com)からRDMコマンドの概要と完全マニュアルを無料でダウンロードする。

## 10 エラーコード

コード	エラー	解決法
E. 003	コントローラーオーバーヒート。 LED赤色。	SkyPanel をクールダウンさせる。クールダウンが完了するとSTATUSが緑に変わる。DMXの調光ノブを“0”にする、あるいは強度を“0”にしてライトエンジンを復活させる。
E. 004	ライトエンジンオーバーヒート	E. 003参照
E. 005	LEDサプライなし	LEDパワーサプライに問題。ARRIサービスに連絡する。
E. 006	ライトエンジンのキャリブレーションデータEEPROMエラー。	警告：キャリブレーションデータなし。ライトエンジンを再度キャリブレートする。ARRIサービスに連絡する。
E. 007	PWM数値に間違い	注意：SkyPanel は使い続けられる。このメッセージはエラーというよりも通知です。
E. 008	計算に問題あり	E. 007参照
E. 009	計算に問題あり	E. 007参照
E. 010	Fanエラー。ファンスピードが落ちている、もしくは停止。	修理は認定されたARRIサービス員のみができる。
E. 011	フィックスチャーメニュー認識できず。	もしフィックスチャーメニューが作動していたら、このメッセージは無視する。しかし、フィックスチャーメニューのLEDがつかないままならARRIサービスセンターに連絡して、見てもらう。その後、詳細な分析を実行できます。
E. 012	温度計に問題あり。NTC数値が高い。	NTCとBNTCが基準の温度、12°C / 54°Fを超える。
E. 013	キャリブレーションに問題あり。	警告：キャリブレーションデータなし。フィックスチャーメニューを再度キャリブレートする。
E. 014	Watchdogエラー	注意：SkyPanel は使い続けられる。このメッセージはエラーというよりも通知です。
E. 015	LED チャンネルに問題あり	注意：SkyPanel は使い続けられる。このメッセージはエラーというよりも通知です。
E. 016	オーバーヒート	SkyPanel をクールダウンさせてください。クールダウンが完了したらSTATUSが緑色に変わる。DMXの調光ノブを“0”にする、あるいは強度を“0”にしてライトエンジンを復活させる
E. 018	PWM ドライバーなし	SkyPanel の電源を入れたり消したりする。それでも解決できない場合は、ARRIサービスに連絡する。
E. 019	ディフューザー取り外した	ディフューザー取り外された保護回路が作動しています(RP版のみ)。
E. 020	エラーアップデート	アップデート中にエラーが発生した時の警告。エラーログを見て問題がどこで発生しているのかを見つける。
E. 021	ファイルシステムなしファイルシステムがマウントされていません。	フラッシュディスクのファイルシステムに不備があるときに起こる。
E. 022	ブーストなし	SkyPanel の電源を入れたり消したりする。それでも解決できない場合は、ARRIサービスに連絡する。
E. 023	12V なし	スタートアップ時に12Vが検出できない。ARRIサービスに連絡する。
E. 024	5V なし	スタートアップ時に5Vが検出できない。ARRIサービスに連絡する。
E. 025	DMXデータ不一致	ゲートウェイまたはホストフィックスチャとしてデータを送信しようとしたときに、フィックスチャがデータライン上でデータを検出しました。さらなるデータ衝突を避けるために、ゲートウェイおよび/またはホスト/クライアントモードを停止します。
E. 026	USB ドライブ接続不可	USB スティックは接続できないUSB スティックを取り外し、数秒待ってから再接続します。問題が解決しない場合は、別のUSB スティックを試してください。
E. 027	S360 Clientがない	S360-C ClientコントローラがないS360-C の電源を入れ直します。それでも解決できない場合は、ARRIサービスに連絡する。

コード	エラー	解決法
E. 028	ライトエンジン不足	ライトエンジンが特定できない光エンジンが動作していないことを確認するには、強度を少し上げます。ライトエンジンのケーブル接続を確認してください。それでも解決できない場合は、ARRIサービスに連絡する。
E. 029	DMX JSON 形状が不足、あるいは起動時にエラー	エラーフームウェアのアップデートを実行します。
E. 030	New / Old エラー、新しいあるいは古いSPD2 と LE のみ許可されている	新旧の要素が一つのフィクスチャに混在ARRI サービスパートナーにコンポーネントのリビジョンを確認して下さい。
E. 031	工場出荷時のデフォルトの問題 フィクスチャ設定で	ファクトリーデフォルト起動エラーデフォルトのデータが壊れています。ファームウェアのアップデートを実行するか、ARRI サービス パートナーにお問い合わせください。
E. 032	RDM UID リストがいっぱいです	データ ライン内のアクティブな RDM トランスマッタが多すぎます (RDM ライン内のトランスマッタは 50 個以下である必要があります)。
E. 033	DMX フレームが不足しています	不完全な DMX パケットが検出されました。受信した値は無視されます。

## Notizen





**SKYPanel**<sup>®</sup>